

みずほCustomer Desk Report 2024/02/08号 (As of 2024/02/07)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.88
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.83	1.0757	159.12	1.2603	0.6528
SYD-NY High	148.26	1.0784	159.71	1.2641	0.6540
SYD-NY Low	147.62	1.0753	158.94	1.2598	0.6516
NY 5:00 PM	148.17	1.0772	159.63	1.2627	0.6520
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,677.36	156.00	日本2年債	0.1000%	▲0.0100%
NASDAQ	15,756.64	147.65	日本10年債	0.7100%	0.0000%
S&P	4,995.06	40.83	米国2年債	4.4246%	0.0263%
日経平均	36,119.92	▲40.74	米国5年債	4.0637%	0.0289%
TOPIX	2,549.95	10.70	米国10年債	4.1144%	0.0249%
シカゴ日経先物	36,305.00	310.00	独10年債	2.2985%	0.0030%
ロンドンFT	7,628.75	▲52.26	英10年債	3.9855%	0.0370%
DAX	16,921.96	▲111.28	豪10年債	4.1000%	▲0.0560%
ハンセン指数	16,081.89	▲54.98	USDJPY 1M Vol	8.35%	0.04%
上海総合	2,829.70	40.21	USDJPY 3M Vol	9.58%	▲0.01%
NY金	2,051.70	0.30	USDJPY 6M Vol	9.56%	0.03%
WTI	73.86	0.55	USDJPY 1M 25RR	▲0.95%	Yen Call Over
CRB指数	270.35	1.30	EURJPY 3M Vol	9.13%	▲0.12%
ドルインデックス	104.06	▲0.16	EURJPY 6M Vol	9.39%	▲0.04%

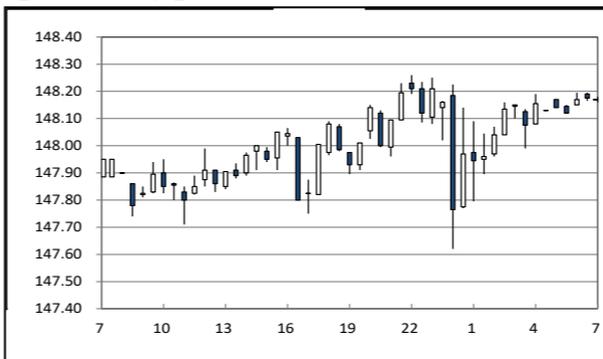
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月7日	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	12月 -1.6%	-0.5%
	22:30	米 貿易収支	12月 -\$62.2b	-\$62.0b

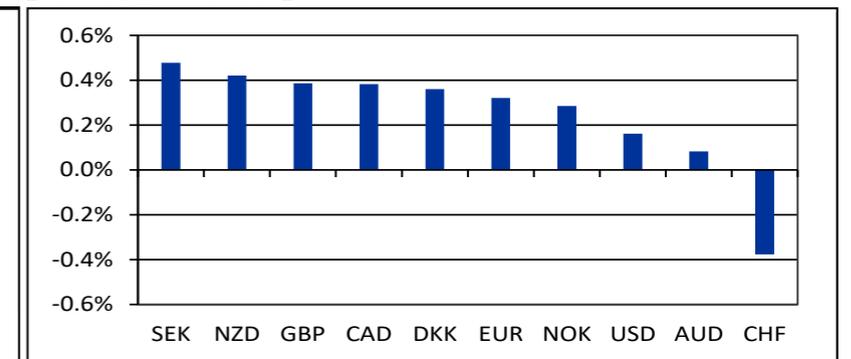
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月8日	10:30	中 CPI(前年比)	1月 -0.5%	-0.3%
	10:30	中 PPI(前年比)	1月 -2.6%	-2.7%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	3-Feb 220k	224k
2月9日	00:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	12月 0.4%	0.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.30-148.80	1.0730-1.0830	158.80-160.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は147円台後半でオープン後、材料難の中148円を挟んでの推移。値幅は出なかったものの、米株の堅調推移やFed高官の発言をサポートに底堅い値動きを続け、148.17でクローズした。決定打となる材料が出ない中、ドル円は身動きの取りづらい状況。ただNYダウが史上最高値を更新するなど、引き続きリスクセンチメントは良好であり、本日も前日と同様にレンジ内での底堅い値動きを予想する。午後には内田日銀副総裁の会見が予定されており、マイナス金利解除に関して言及があった場合のボラタイルな値動きには念のため注意しておきたい。

東京	東京時間のドル円は147.83レベルでオープン。前日の米金利低下の流れを受けて、午前はややドル売りが強まるも、下値は147.71まで。その後はめぼしい材料のない中、148円台後半を中心に方向感なく推移。ドル売りの流れが一服すると、引けにかけてじりじりと値を上げ148円台を回復し、148.05レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、148.05レベルでオープン。欧州株は若干のリスクオフだったが、ドル円はクロス円の上昇に連れて堅調推移。148.26まで上昇し148.21レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台後半でスタート。手掛かり材料を欠く中、クロス円の上昇につられドル円も小幅上昇し、148.21レベルでNYオープン。朝方は米地銀経営不安を巡り、前日に米格付け会社による格付けを引き下げられた事等が嫌気され、リスクオフの円買いから一時147.62まで下落。しかし、円買いは長く続かず、その後コンス・ホストン連銀総裁の「利下げを支持するにはさらなるデータが必要」等との発言を受け、低下していた米金利が上昇する動きに追随し、148円丁度付近まで戻す。午後は米10年債の堅調な入札結果が上値を抑え、148.10近辺での膠着感強い値動きが続き、148.17レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。独12月鉱工業生産が予想より悪化するも、ユーロドルは反応薄。その後米1.0770付近でほぼ横ばいで推移し、1.0774レベルでNYオープン。日中を通じて特段注目材料は見当たらず、1.0770付近を挟んだ狭い値動きが終始続き、1.0772レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・西